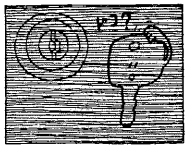
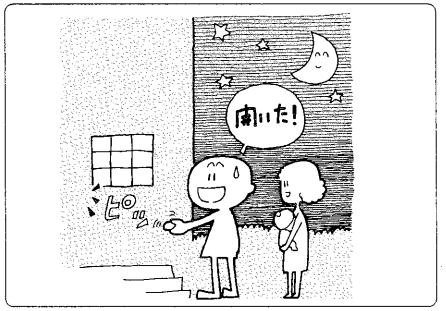
リモコンキーシステムは…

リモコンキーシステムは、玄関の施解錠の際に鍵穴に鍵を差し込まなくても、玄関戸にむけて発信器のボタンを押すだけで、自動施解錠ができます。

●玄関まわりが暗くても‥‥

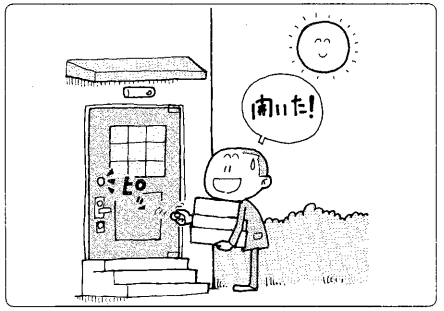
玄関戸に向けて発信器のボタンを押すだけで施解錠できます。





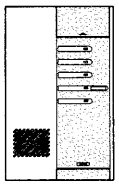
●手荷物が多くても‥‥

手に荷物を持っていても、発信器のボタンを押すだけで解錠できます。

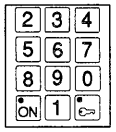


●電気錠システムを接続するとさらに機能アップ(施工後の変更はできません)

〈システムⅠ〉



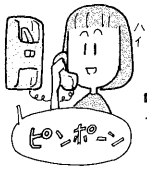
・室内のメインコントローラから玄関の施解錠ができます。



・玄関わきのテンキーで、キーがなくても施解錠できます。

●扉を閉めると自動的に施錠されます。

〈システムⅡ〉



・ドアホンで外の人と通話ができます。

〈システムⅢ〉

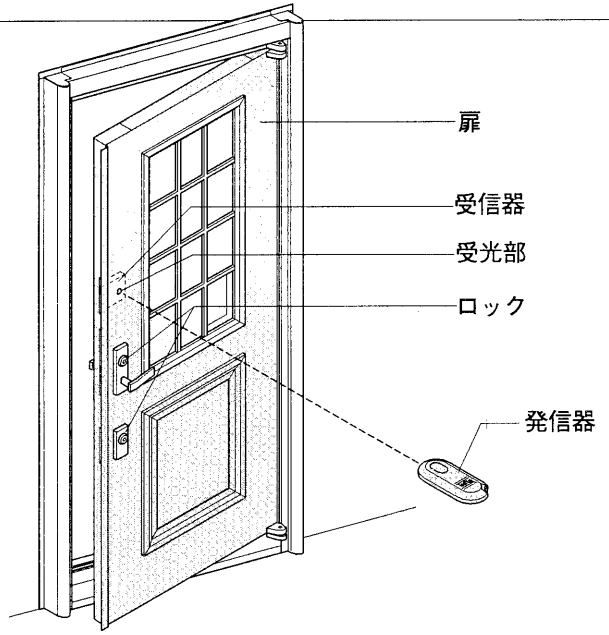


・テレビモニターで外の人を確認できます。

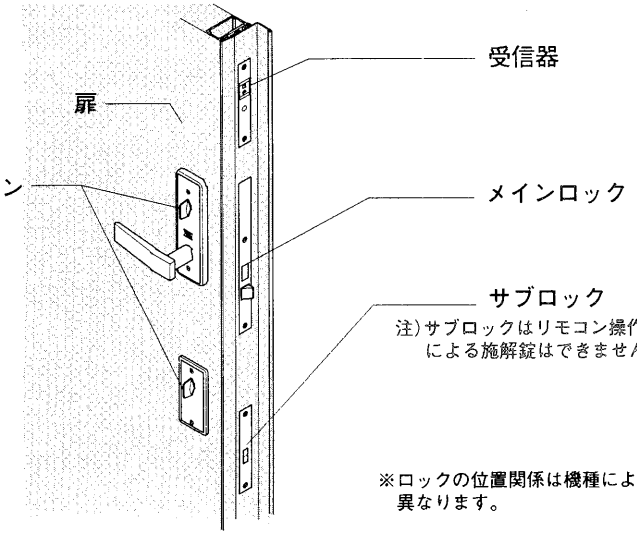
※電気錠システムのメインコントローラ・テンキーについては「電気錠システム取扱い説明書」をご覧ください。

各部の名称とはたらき

【室外側】



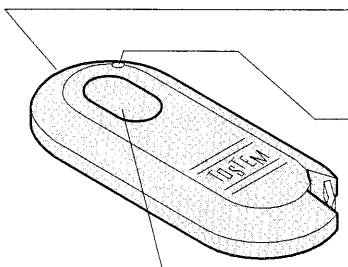
【室内側】



注)サブロックはリモコン操作による施解錠はできません。

※ロックの位置関係は機種により異なります。

●発信器……赤外線で施解錠信号を出します。



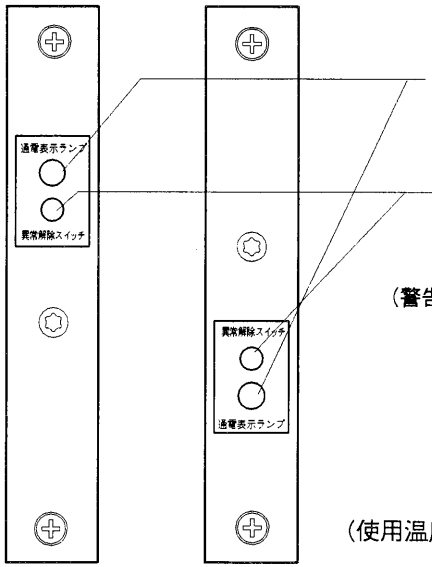
発信部
・赤外線信号が出ます。
（こちらを扉に向けて操作します。）

確認ランプ
・操作ボタンを押すと点灯します。
・ランプが暗くなると電池の寿命です。

操作ボタン
・扉の受信器に信号を出します。
・ボタンを押すとメインロックが施錠・解錠します。

（使用温度範囲＝－20℃～＋50℃）

●受信器……信号を受信して施解錠の指示を出します。



通電表示ランプ
・電源のON状態で点灯
・異常時に点滅します。

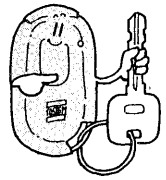
異常解除スイッチ
・異常表示のランプ点滅および警告音を解除します。
（警告音は約10秒で止まります。）

（使用温度範囲＝－20℃～＋50℃）

［右吊元の場合］［左吊元の場合］

ご使用上のお願い

■停電になった時は、標準キーで施解錠してください。
停電になった時はリモコン操作による施解錠はできません。発信器と標準キーはいつでも一緒に携帯してください。



■発信器には精密部品を使用しています。落したり、強いショックを与えないよう、取扱いには注意してください。



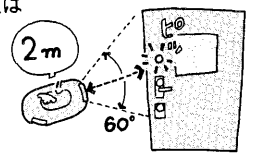
■発信器は生活防水構造（防滴型）になっていますが、できるだけ濡らさないように使用してください。



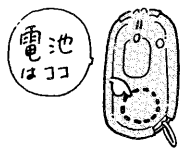
■車のダッシュボード等の高温（50℃以上）になる場所に放置しないでください。



■発信器と受信器（玄関戸）の到達距離は２ｍ、角度は60°です。
玄関戸の前で操作してください。



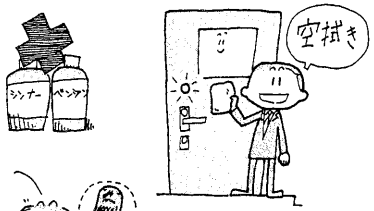
■発信器に使用している電池の寿命は、１日10回（1秒／回）使用で約３年です。
操作ボタンを押した時、確認ランプが暗くなったり、到達距離が短くなった場合は新しい電池と交換してください。



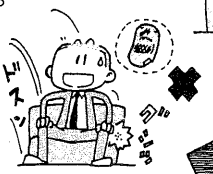
■発信器の操作ボタンを素早く押すと受信器（電気錠）が作動しない場合があります。
操作ボタンは1秒以上押してください。



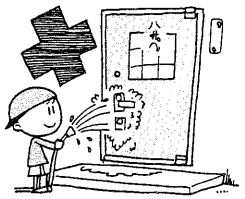
■玄関戸の受光部が汚れている場合は、柔らかい布でから拭きしてください。シンナー、ベンジン等の化学薬品は表面を傷めますので使用しないでください。



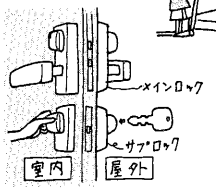
■発信器をズボンの後ポケットなどに入れないでください。座った時にこわれるおそれがあります。



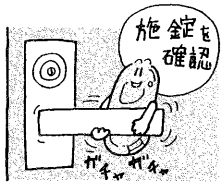
■玄関戸には電子部品が組み込まれています。強い衝撃を与えたり、水をかけたりしないでください。



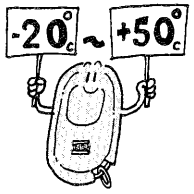
■サブロックはリモコン操作による施解錠はできません。サブロックの施解錠は標準キー又はサムターンで行なってください。



■玄関戸は完全に閉めてから施解錠を行なってください。又、発信器で施錠した場合でも必ず施錠されているか確認してお出かけください。



■発信器の使用温度範囲は−20°C〜+50°Cです。冬期、−20°C以下になり作動しない場合は、標準キーを使って施解錠しますので、発信器と標準キーは一緒に携帯してください。
使用温度範囲になると作動しますので、故障ではありません。



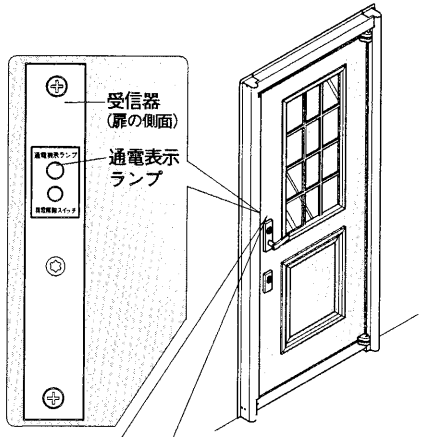
■発信器を紛失してしまった場合は、最寄りのトステム（株）営業所又は代理店にご相談ください。

※盗難事故などの損害については、責任を負いかねますのでご了承ください。

操作方法

〔はじめに〕

玄関戸を開けると、戸の側面の受信器通電表示ランプが点灯しているか確認してください。
※消灯又は点滅している場合は10ページをご覧ください。



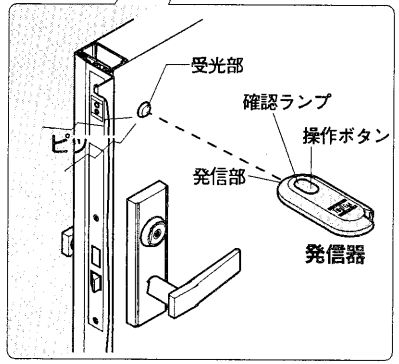
【操作方法】

1.玄関戸の前で発信器の発信部を玄関戸の受光部に向けます。

2.操作ボタンを押します。（約1秒）

→操作ボタンを押している間は、発信器の確認ランプが点灯します。(約0.5秒)
→錠状態から施錠、又は施錠状態から解錠されます。
→施解錠時に受信器から信号音が出ます。
施錠する時……1回（ピッ）
解錠する時……2回（ピッピッ）

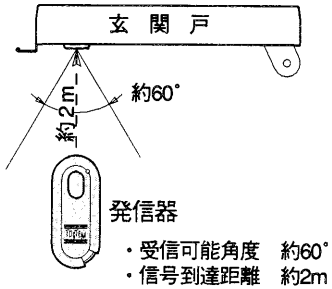
注）リモコン＋電気錠システム接続仕様の場合、施解錠時の信号音は出ません。



〔リモコン＋電気錠システム接続仕様の場合〕

扉を開けて、扉が閉まると自動的に施錠されます。

■リモコンキー操作可能範囲

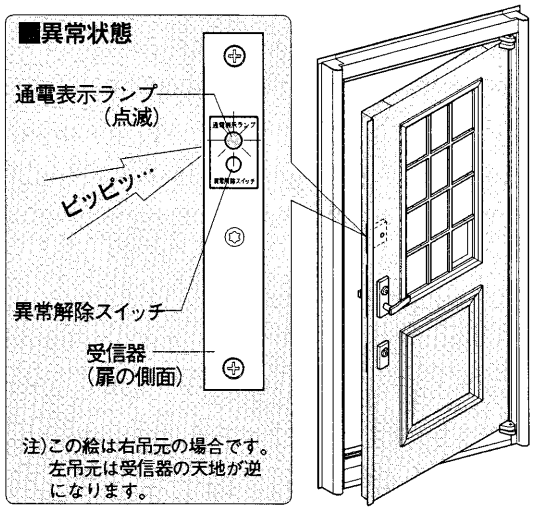


異常表示と警告音について
〔リモコンキー単体仕様の場合〕

リモコンキーシステムには下記の警報機能があります。

●異常表示
→ランプが点滅します。

●警告音
→受信器から鳴ります。
ピッピッピッ……
（約10秒）



〔このような場合〕

他人のリモコンキー発信器（当社製）で４回連続受信したとき
→ ・警告音　約１０秒
・通電表示ランプ点滅　約１０秒

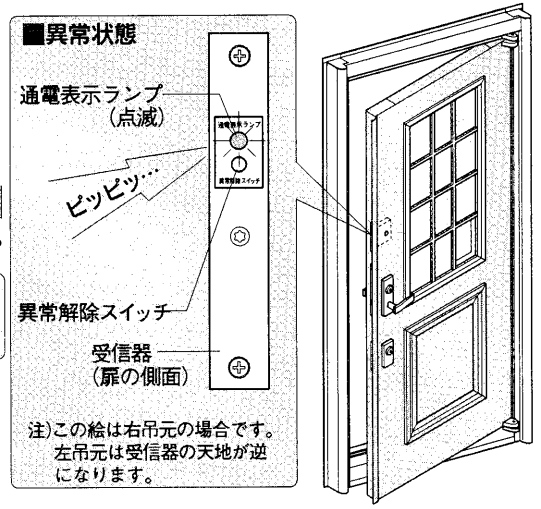
リモコンキー発信器の信号を受信してもメインロックが施錠できないとき
→ ・警告音　約１０秒
・通電表示ランプ点滅

原因・扉が閉まっていない。
・ストライク（錠受け）の位置が正しくない。
・ストライクの穴に異物が入っている。

・異常解除スイッチを押してリセットしてください。
リセットするまでは表示ランプが点滅し、その間はリモコンキーによる施解錠ができません。

異常表示と警告音について
〔リモコン＋電気錠システム接続仕様の場合〕

リモコンキーシステム、電気錠システムにはそれぞれ下記の警報機能があります。



リモコンキーシステム
・受信器から警告音がでます。

他人のリモコンキー発信器（当社製）で4回連続受信したとき
→ ・警告音（ピッピッピッ……）約10秒
・通電表示ランプ点滅 約10秒

電気錠システム
・メインコントローラまたはテンキーから警告音がでます。
※メインコントローラ及びテンキーについての詳細は「電気錠システム取扱い説明書」をご覧ください。

【メインコントローラから警告音がでる場合】

テンキーのミス操作を4回連続したとき
→ 警告音（ピーー）約90秒 → 解除 ・メインコントローラのリセットスイッチまたは施解錠スイッチを押してください。

発信器またはメインコントローラ・テンキーで解錠し、扉を30秒以上解放したとき
→ 警告音（ピーー） → 解除 ・扉を閉めてください。

発信器またはメインコントローラで施解錠操作をしても施錠できないとき
→ 警告音（ピーー） → 解除 ・標準キーまたはサムターンで施錠してください。

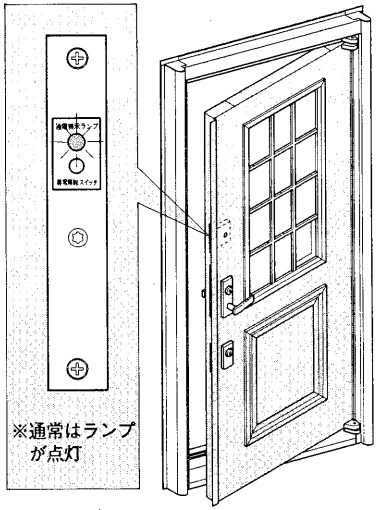
【テンキーから警告音が出る場合】

テンキーの暗証番号を間違えたなどのミス操作をしたとき
→ ・警告音ピーピーピーピーピー（5回）

テンキーにミス操作を4回連続したとき
→ ・警告音（ピーーー）約90秒
・テンキーパネルの数字がすべて[日]で表示され点滅

リモコンキーが動かない場合

故障かな？と思う前にもう一度この説明書をお読みになって操作してください。それでも動かない場合は、下記の事項を確認してください。



■停電ではないですか？
ブレーカーが落ちていませんか？
→分電盤のブレーカーを確認してください。

■発信器の発信部や扉の受光部に異物が付着していませんか？
→柔らかい布で拭き取ってください。

■発信器の電池切れではないですか？
操作ボタンを押すと確認ランプが点灯しますか？
→11ページ「発信器の電池交換方法」をご覧ください。

■受信器の通電表示ランプが点滅していませんか？
→異常解除スイッチを押してリセット（点灯状態）にしてください。

■サブロックが施錠していませんか？
→解錠操作時、サムターンか標準キーでサブロックを解錠してください。

■扉は完全に閉まっていますか？
半開き状態ではないですか？
→施錠操作時、扉を完全に閉めてから施錠してください。

■ストライク（錠受け）に異物が入っていませんか？
→施錠操作時、異物を取り除いて、サムターンか標準キーで施錠できるか確認してください。

◆以上を確認しても動かない場合は、お買い求めの工務店、販売店、またはトステム（株）営業所へご連絡ください。

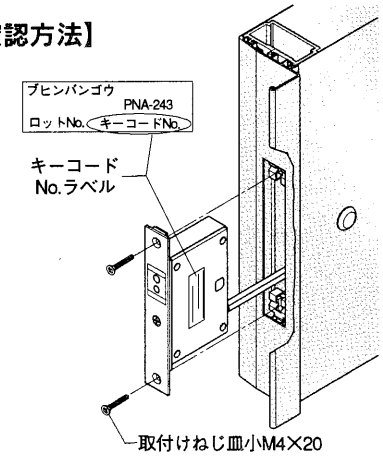
発信器のスペアキー（有償）の発注方法

リモコンキーシステムの発信器を同世帯で複数必要な場合、または発信器が破損してしまった場合はキーコードNo.を確認のうえ、最寄りのトステム（株）営業所または代理店へ別途発注してください。

注）発信器を紛失された時は、防犯上発信器と受信器のセットで交換してください。

【リモコンキーのキーコードNo.確認方法】

1．扉の側面（ロック側）の受信器の取付けねじ２本を外します。
2．受信器を引き出すと、キーコードNo.を表示したラベルがあります。
3．キーコードNo.を確認後、コードを加工穴に納めながら受信器をもとの状態に戻して、ねじ２本で取り付けます。
※発信器のリングにもキーコードNo.ラベルが付いて出荷されます。



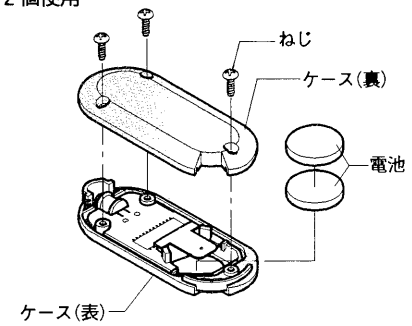
発信器の電池交換方法

発信器の確認ランプが暗くなったり、到達距離が短くなった場合は、新しい電池と交換してください。交換する際は、２個とも新しい電池に換えてください。

使用電池：コイン型リチウム電池CR1616　２個使用

【電池交換方法】

1．発信器裏面のねじ３本を外し、ケース裏とケース表に分けます。
2．中の電池を取り出し、新しい電池を向きを間違えないようにセットします。（ケース内に表示があります。）
3．ケース裏とケース表を元のように合わせてねじ止めします。



保証について

（1）保証者

トステム株式会社

（2）保証の対象者

住宅の所有者

（3）対象商品

トステムブランドで販売している一般住宅用商品及びエクステリア商品

（4）保証内容

通常の取扱いによって生じた品員不良、性能及び機能の低下によるもので、かつ当社が認定したもの。

（5）保証期間

当該商品の取付完了後２年間

（電装部品については１年間）

但し、完了時期については所有者が立証責任を負う。

（6）品質保証の免責事項

原因が次の様な場合は、保証期間内であっても有償修理となります。

ィ．環境が特に悪い地域の場所に取り付けられたもの。

（例えば塩害や大気中の砂塵や煤煙、各種金属粉、亜硫酸ガス、アンモニア、車の排気ガス等の反応物質が付着して起こす腐食、高温、低温、多湿による損傷や故障）

ロ．保証者の表示した取扱いから逸脱したもの。

（ａ）モルタル（アルミに接触する部分）に海砂を使用

（ｂ）モルタル（アルミに接触する部分）に急結剤を使用

（ｃ）塩分等を含んだ木材を使用

（ｄ）施工指示通りに施工がなされていない（コーキング等）

（ｅ）中性洗剤以外のクリーニング剤を使用

ハ．使用者もしくは第三者の誤り、または不当な修理や改造によるもの。

ニ．不可抗力（天災、地変、地盤沈下、火災、爆発、騒乱、落雷、異常電圧等）により発生したもの。

ヘ．建具構成材であっても当社供給範囲外のもの（ガラス等）

ト．一般住宅用とは認められない使用目的に使用されたもの。